

文化遺産とまち、ひと、復興

東京大会



受け継ぎたい 大切なふるさと

男山本店店舗を背景に舞う浪板虎舞（気仙沼市）

ふるさとで親しまれたお祭りや伝統行事、ふるさとの風景をつくる歴史的建造物や町並み・・・
 東日本大震災で傷ついた多くの文化遺産が、いま支援を受けながら復旧の途上にあります。
 このイベントでは、文化遺産が「こころの復興」に果たす役割をアピールし、さらなる支援を広く呼びかけます。
 文化遺産の復旧に取り組む、市民、市民団体、専門家、企業や財団、自治体の皆さん、東京大会に結集してください！

東京大会 シンポジウム

12月20日(金)

16時～19時15分

(無料、15時受付開始)

文部科学省東館3階講堂

(東京都千代田区霞が関三丁目)

大会に先立ち、会場ロビーでは、被災地の文化遺産の被災と復旧を取材したパネルの展示が行われます(15時～)
 会場内では、支援を受けて復旧しつつある東北の伝統芸能のパフォーマンス

(女川獅子振り、南部藩壽松院年行司支配太神楽) も行われます(16時～)

基調講演『文化遺産の復旧の意義、それを支える多様な主体(仮)』(17時～シンポジウム開始)

- 文化庁長官 青柳正規
- ワールド・モニュメント財団 副理事長 ヘンリー・エンジー (米国ニューヨーク)

現地からの報告

- 気仙沼内湾地区における歴史的建造物の復旧、地域の伝統的な祭礼の復旧、ふるさとの資源

ディスカッション「ふるさとの文化遺産の復旧のためにできること」

○コーディネーター 稲垣 光彦 (ワールド・モニュメント財団)

- ふるさとの文化遺産の担い手が結集します。
地域のお祭りや伝統行事、歴史的建造物や町並み、先人の暮らしの痕跡が残る遺跡などから、人々に受け継がれた生活文化、大切なふるさとの記憶にいたるまで。
- 多様な役割、立場の人、団体が結集します。
市民、市民団体から、自治体職員、専門家、企業や財団にいたるまで。
- 皆が集まり、多様な活動について報告し、連携して取り組むことを決意表明します。

東京大会に係る
お問い合わせ先

一般社団法人 気仙沼風待ち復興検討会 事務局 担当:気仙沼市教育委員会生涯学習課 幡野 TEL:0226-22-6600(内線124) FAX:0226-23-0943
 ※リレーイベント全体に関するお問い合わせ:㈱マヌ都市建築研究所 担当:三浦、和田 MAIL:wada@manu.co.jp

主催:文化庁、一般社団法人気仙沼風待ち復興検討会
 助成:ワールド・モニュメント財団(米国)、フリーマン財団(米国)、SOC(東日本大震災被災文化財復旧支援事業)
 特別協力:凸版印刷株式会社、日本財団、バンクオブアメリカ・メリルリンチ

